

想像しながら読み、自分の考えをまとめる力を育てる指導の工夫

— 読みの観点に沿った物語の読解を通して —

国語班 宮一 美樹 (小学校教諭)

I 自己課題設定理由

3年生の児童の実態

- ・本を読むことが好き
- ・読み深めることが苦手

改善のために

物語を深く読み取ってほしい

考えをもって読み取ったことに対するほしい

- ・読みの観点の設定
- ・ワークシート(自分の考えシート)の活用
- ・自分の考えをまとめる活動

II 班共通の視点との関わり

読みを深めるためには...

- ・ことばに着目させる
- ・ことばとことばとをむすび付けて深く考える読み方を指導していく

III 自己課題解決策

読みの観点の設定

ワークシート(自分の考えシートの活用)

自分の考えをまとめる活動の充実

IV 具体的方策の実践概要

<单元名> 場面の様子をそうぞうしながら読もう「ちいちゃんのかげおくり」(あまん きみこ 作 光村図書 三年 下)

◎三つの「かげおくり」読みの観点

- ・誰とやったのか
- ・空の様子
- ・会話
- ・登場人物の様子や気持ち
- ・登場人物の気持ちが分かる文
- ・かげおくりの後に失われたものと失われなかったもの

◎読みの観点に沿って、三つの「かげおくり」を比較し、それぞれのかげおくりの特徴が分かるような名前を付けちいちゃん的心情を考える。

◎自分の考えシートの活用

◎理由を書くところ、考えの変容を書くところを設けるなど構成を工夫し、自分の考えを適切にまとめることができるようにした。

◎自分の考えをまとめるために

◎学習形態を工夫し、児童同士が学び合いながら読みを深めていくことを通して、考えをまとめていく。

学習形態

- ①一人読み
- ②ペアまたはグループでの話し合い
- ③学級全体での話し合い

◎成果と●課題

◎ことばに着目しながら、読みを深めることができるようになった。

●話合いの場面では、相手の考えに関連させて自分の考えを発表できるようになると、より一層話合いが活発になり、読みも深まるであろう。